

大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

まちかどレポート

※撮影の時だけ一時的にマスクを外していただいています。

2023年度使用「交通安全ポスターデザイン」コンクールに市から2人が受賞

全日本交通安全協会などが募集したポスターデザインコンクールで、宅峰中の安陪華子さんが中学生以下の子ども部門960点の中で、最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。安陪さんの作品は、本年度の交通安全広報のポスターとして使用されます。また一般部門Bでも、大谷博之さんが536点から優良作に選ばれました。2人の作品は、4月から努力義務化されたヘルメット着用を呼びかけています。



(左) 5月1日に市長を表敬した安陪華子さん
(右) 5月8日に市長を表敬した大谷博之さん

2人の受賞作品は、
こちらから見る事が
できます→



新大牟田駅と中心市街地間の移動をもっと便利に！

5月1日、九州新幹線新大牟田駅と市内中心部をつなぐ、快速バスと予約型乗合タクシーの実証実験がスタートしました。関市長は、新大牟田駅と銀水駅で実施した出発式で「新幹線を使って大牟田に来てもらい、市民の皆さんも都市圏に行くことができる交通ネットワークをつくっていききたい」と話しました。

この実証実験は、10月31日(火)まで実施しています。詳しい利用方法は、広報おおむた5月1日号に掲載しているほか、市ホームページから確認できます。

市ホームページ
はこちらから→



「のり」で交通安全を呼びかけ

5月11日、交通安全啓発活動「のりのりおおむた2023年春」がゆめタウン大牟田で行われました。「自転車はヘルメットをかぶってのりましょう」「お酒を飲んだら車にのりません」をキャッチコピーに、買い物に訪れた市民に啓発チラシとともに特産のりを配布し、交通安全を呼びかけました。



安心・安全を守る22人の有志が入団

大牟田市消防団に新たに加わった22人の入団式を行いました。式と併せて、講習および訓練も行われ、新入団員としての心構えなどを学びました。いつ、どこで起きるか分からない災害などに備え、市民の安心・安全を守るべく、活動する消防団の活躍が期待されます。



宮原坑、貴重な工事中の姿を特別公開

5月6日、耐震補強・修理工事を行っている世界遺産・国指定重要文化財「三池炭鉱宮原坑第二豎坑巻揚機室」の工事中の様子を公開しました。令和4年4月に始まった工事は、今年8月に完了予定で、屋根を取り外した貴重な姿を見られる見学会は、今回が最後でした。仮設足場等の無い本来の宮原坑を久しぶりに見られるのも間もなくです。



ラジオ工作で音や半導体などに触れる

イノベーション創出拠点「^{アウレア}aurea」内にある「ジャー坊の音楽ラボ」で、ラジオ工作体験イベントが開催されました。参加した子どもたちは、ラジオの仕組みについて学んだ後、真剣な表情でAM/FMラジオを自作しました。出来上がったラジオから「FMたん」と流れると、嬉しそうに放送に聞き入っていました。



左から、平河辰徳さん、古賀一也さん

水難救助、命を救った勇敢な行動に感謝状

2月24日に大黒町で発生した水難事故の現場で人命救助に尽力したとして、平河辰徳さんと古賀一也さんが消防本部から表彰されました。川に落ち、助けを求めていた男性をロープとはしごを使って救出した2人は「当たり前なこと、自分にできることをしただけ」と話し、消防署長は「とっさの判断で救助はなかなかできないこと。これからも自身の安全を守って、救助に協力してもらいたい」と、勇気ある行動を称えました。



子どもたちに素敵な本との出会いを

青少年健全育成のための活動を行っている大牟田北ロータリークラブより、市立図書館へ図書費が寄付されました。横倉義武会長は「さまざまな本を購入して読書を推進してほしい」と述べ、同館の乾館長は「継続した寄付をいただき感謝しています。子どもたちにいい本を届けたい」とお礼を述べました。



本市のシティプロモーションのために

三井松島ホールディングス(株)からの呼び掛けにより、日本ストロー(株)、クリーンサアフェイス技術(株)、三生電子(株)、(株)明光商会、(株)システックキョーワより、2,000万円の寄付があり、贈呈式が行われました。この寄付金は、シティプロモーション事業に活用します。